

新たな漁業・養殖業の取組（県産サーモン）について



釜石魚市場で水揚げされたサクラマス

第64回岩手県水産審議会資料
令和7年2月12日
農林水産部水産振興課

目次

- 1 はじめに P3～5**
県内で生産されているサーモン、取組の背景など
- 2 生産、流通の状況 P6～10**
国内外のサーモン情勢、国の養殖戦略など
- 3 本県における生産状況 P11、12**
生産量の推移、取組マップなど
- 4 今後の展開 P13～17**
種苗供給体制の構築、サーモンの認知度向上など

1 はじめに

◆県内の海面で養殖されているサーモン

トラウトサーモン（ニジマス）



※ 海面で養殖されたニジマスは、一般的に「トラウトサーモン」と称される。

「岩手・三陸・やまだ オランダ島サーモン」 (三陸やまだ漁協HPより)

ギンザケ



「久慈育ち琥珀サーモン」

サクラマス



「釜石はまゆりサクラマス」

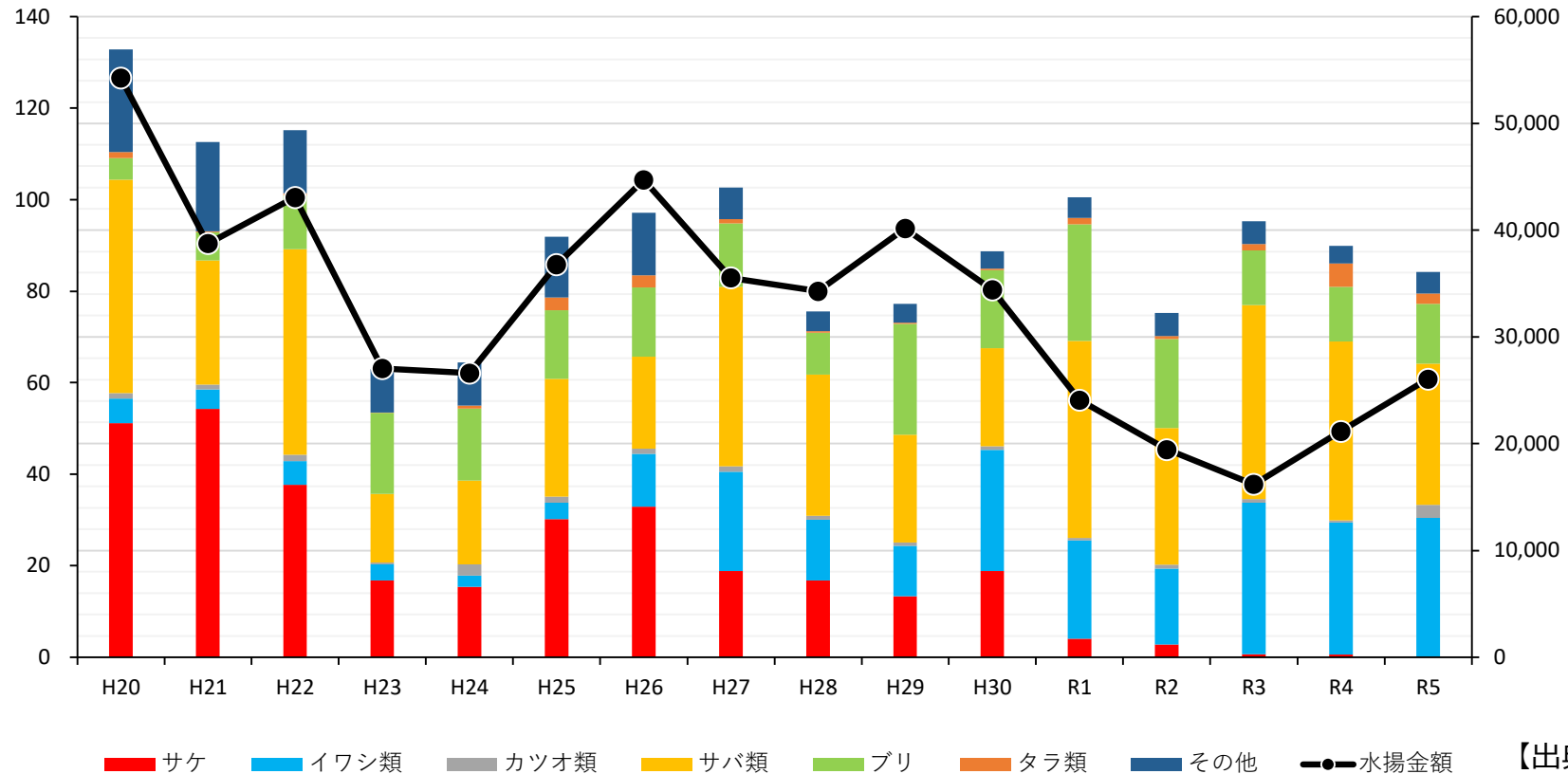
1 はじめに

◆取組の背景（サケなど主要魚種の極端な不漁）

定置水揚げの推移（岩手）

水揚金額：億円（折線グラフ）

水揚量：トン（棒グラフ）



【出典】
いわて大漁ナビ

- ・東日本大震災以降、**本県の漁協の収益の柱となっていた秋サケが急減。**
- ・イワシ、サバ、ブリなどの水揚げは増加したものの、サケの減少を補えるほどの水揚金額には至らない。

1 はじめに

◆岩手県水産業リボーン宣言（令和4年3月）

【取組の3本の柱】

1 主要魚種の資源回復

- 大型で強靱なサケ稚魚の放流
- アワビ資源回復に向けた磯焼対策 等

2 増加している資源の有効利用

- 新たな販路・物流モデルの構築
- ウニ資源の有効活用 等

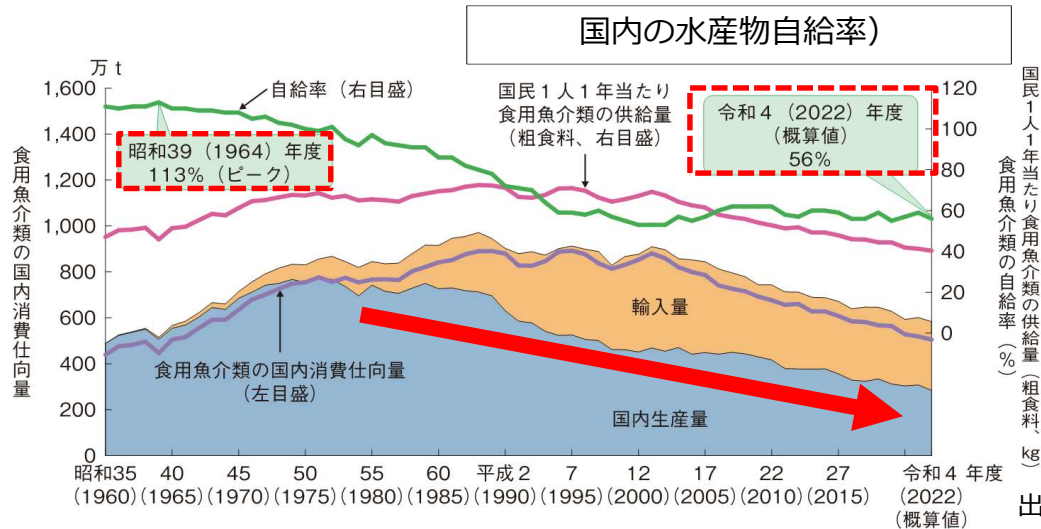
3 新たな漁業・養殖業の導入

- サケ・マス類の海面養殖拡大
- アサリ養殖の事業化 等

- サケなどの主要魚種の不漁により、本県の漁業生産量、生産額ともに減少している中、**新たな収入増加策を検討する必要**があり、海洋環境の変化に左右されない**安定した生産が見込めるサーモン養殖が有望**。

2 生産、流通の状況

◆ 国内の水産物の自給率と海外需要の関わり



【ポイント①】

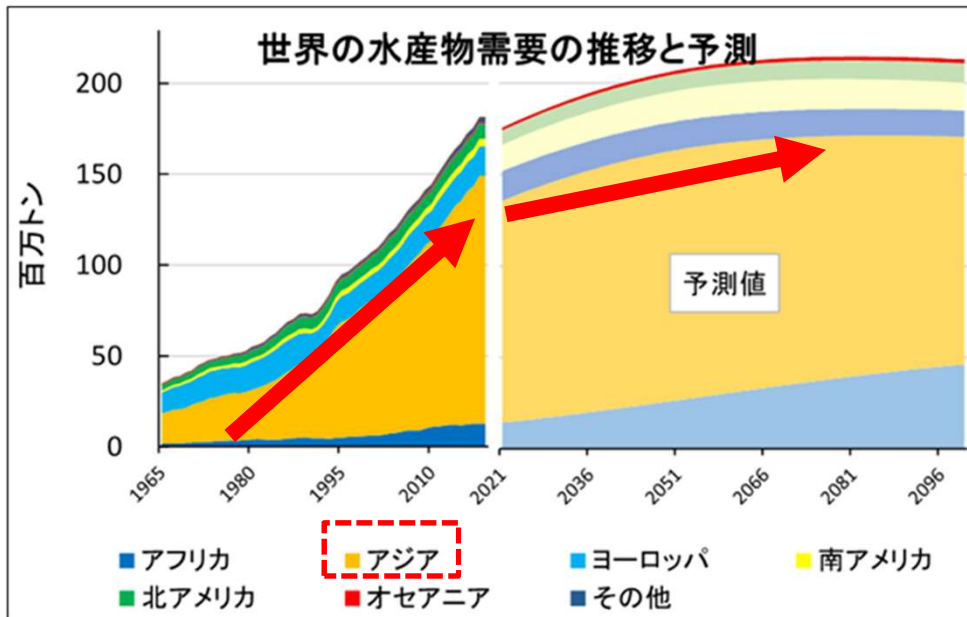
- 水産物の自給率は**56%まで低下**
- 輸入依存度が高まっている

その一方で・・・

【ポイント②】

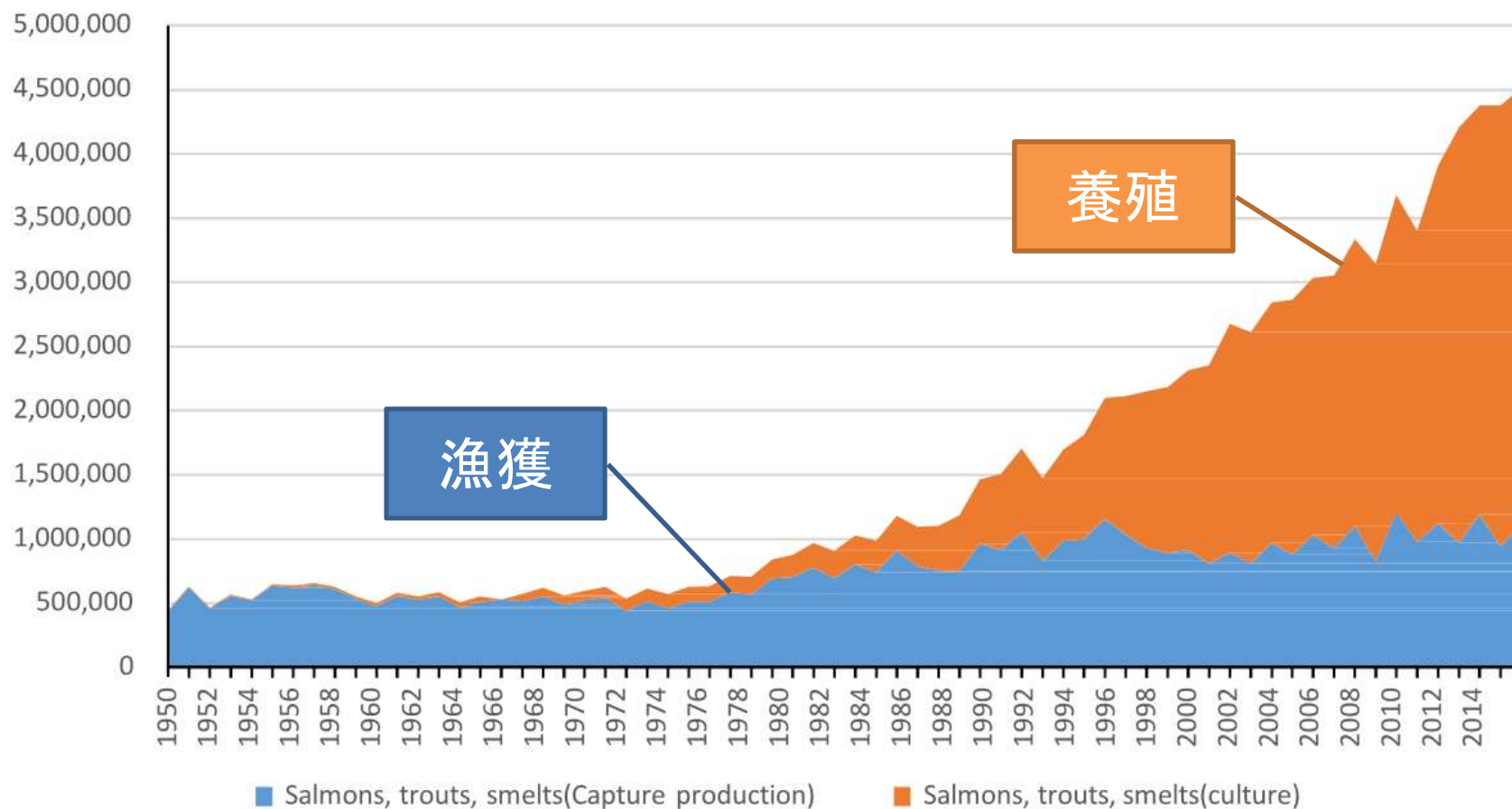
- アジアなど諸外国の需要増
- 世界的な物価高騰+円安
- ➡水産物の**獲得競争が激化**

日本の水産物輸入がこれまでどおりに
いかないことが懸念される。



2 生産、流通の状況

◆世界のサーモン生産量（トン）



出典：国立研究開発法人 水研機構、FAO統計

【ポイント】

世界のサーモン生産量は、養殖の台頭により近年急増。

→養殖は約350万トン

2 生産、流通の状況

◆国の「養殖業成長産業化総合戦略（2020）」抜粋

- 持続的養殖生産確保法（1999）
- ・飼育尾数の制限による漁場環境の維持、魚病防疫の充実
 - ・持続的な養殖生産の確保、安全安心な水産物の安定供給

養殖業成長産業化総合戦略（2020）

- ・世界的な需要を見据えた
マーケット・イン型養殖の推進
 - ・生産から販売・輸出に至る
バリューチェーン全体の付加価値向上
 - ・新技術の導入による経営の効率化
- ↓
- ・持続的な養殖業の成長産業化

みどりの食料システム戦略（2021）

- ・新技術の導入による環境負荷の軽減
 - ・人工種苗の拡大、魚粉代替飼料への
転換による天然資源への負荷軽減
- ↓
- ・環境に配慮した持続的な食糧生産の実現



写真提供：国立研究開発法人水産研究・教育機構

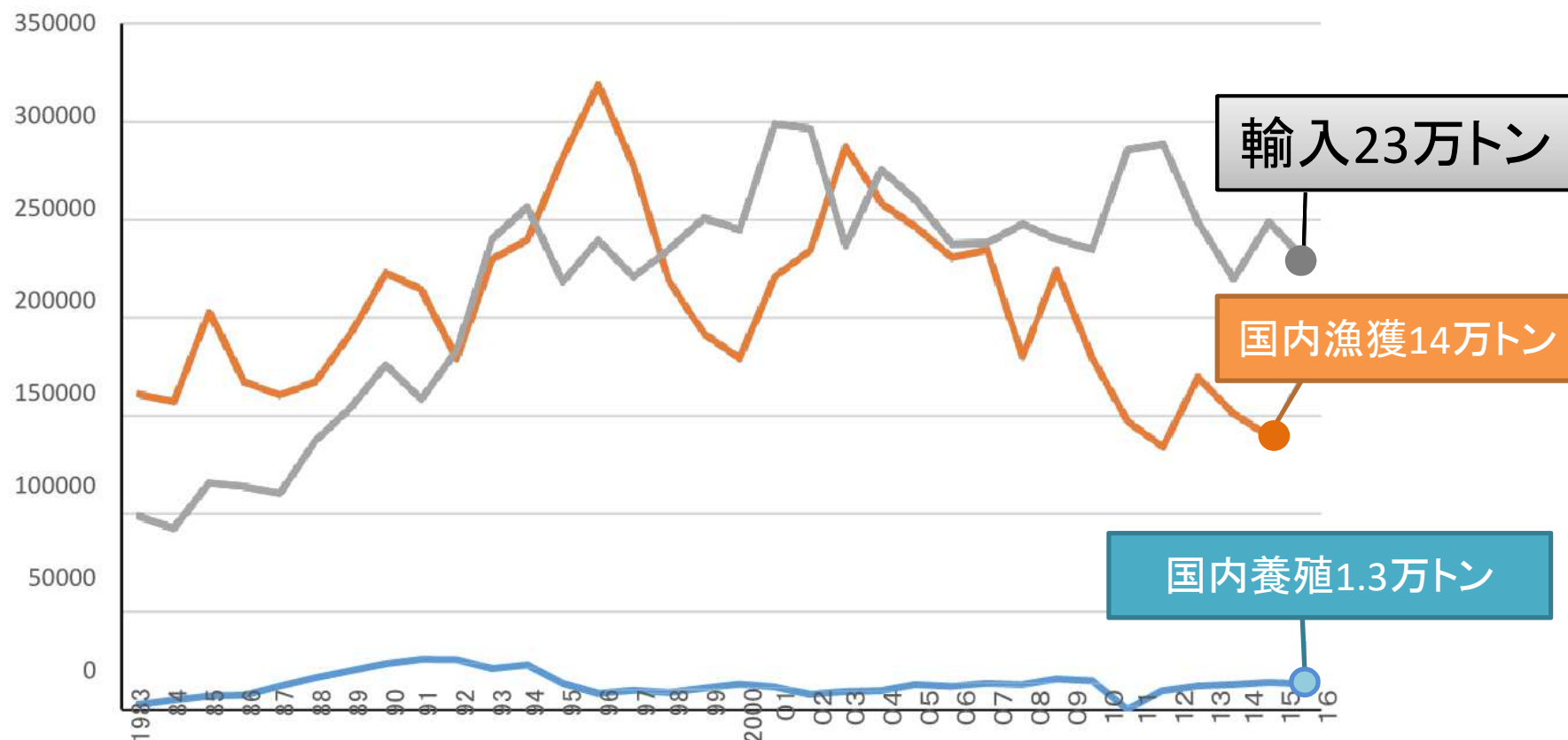
養殖業の今後の成長目標と方針

戦略的 養殖品目	2030年 生産目標	対象マーケット	生産方向
サケ・マス類	3~4万トン	国内の輸入養殖サーモン市場の獲得	定時・定質・定量・定価格を追求

2 生産、流通の状況

◆国内のサーモン情勢

出典：国立研究開発法人 水研機構

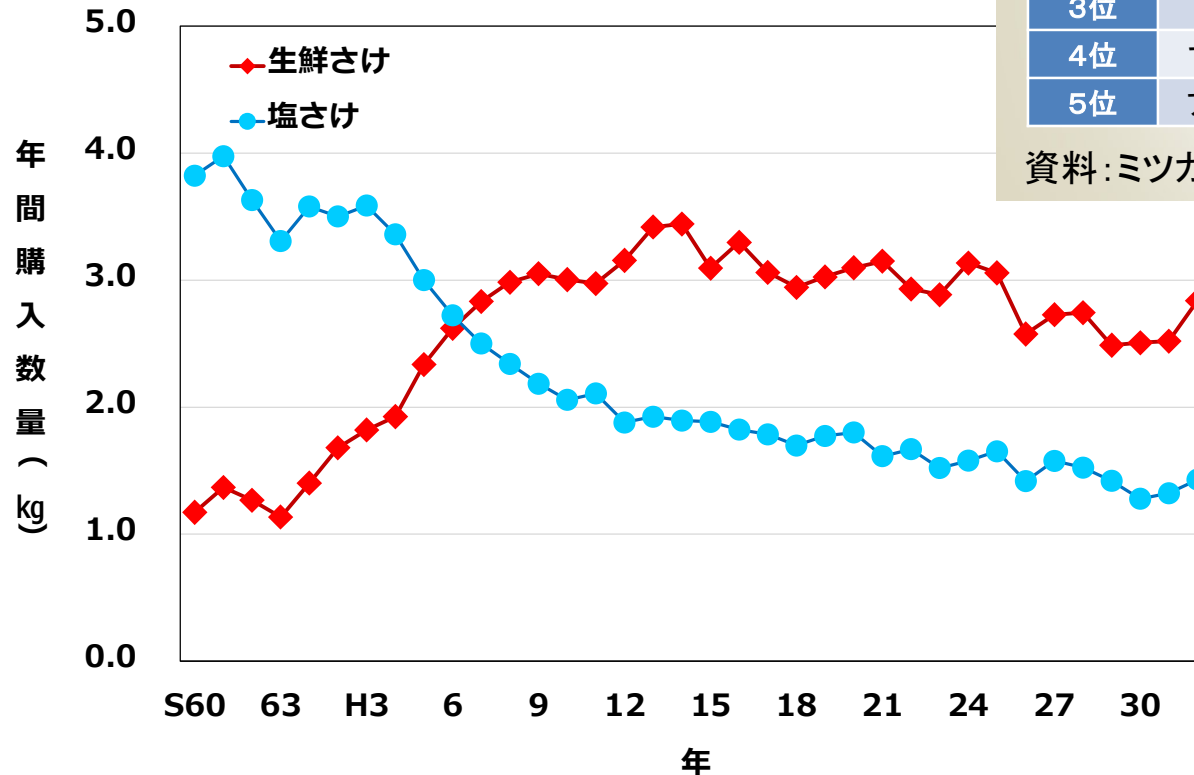


【ポイント】

- ・ 国内需要は38万トンと高く、うち60%を輸入に頼っている。
- ・ 一方、世界的な需要の高まりでサーモンの輸入は頭打ちの傾向にあり、一部を国内生産に切り替えることが望まれている。
→国内養殖生産の増大が期待されている

2 生産、流通の状況

◆ サケ製品の購入量の推移 (S60～R2年)



資料: 総務省(家計調査)

◆ 人気の「寿司ネタ」ランキング

順位	平成8年	平成20年	平成30年	令和3年
1位	トロ	トロ	サーモン	サーモン
2位	ウニ	サーモン	エビ	マグロ(赤身)
3位	エビ	ネギトロ	ハマチ・ブリ	ハマチ・ブリ
4位	マグロ	エビ	エビ	マグロ(中トロ)
5位	アナゴ	ホタテ	ホタテ	エビ

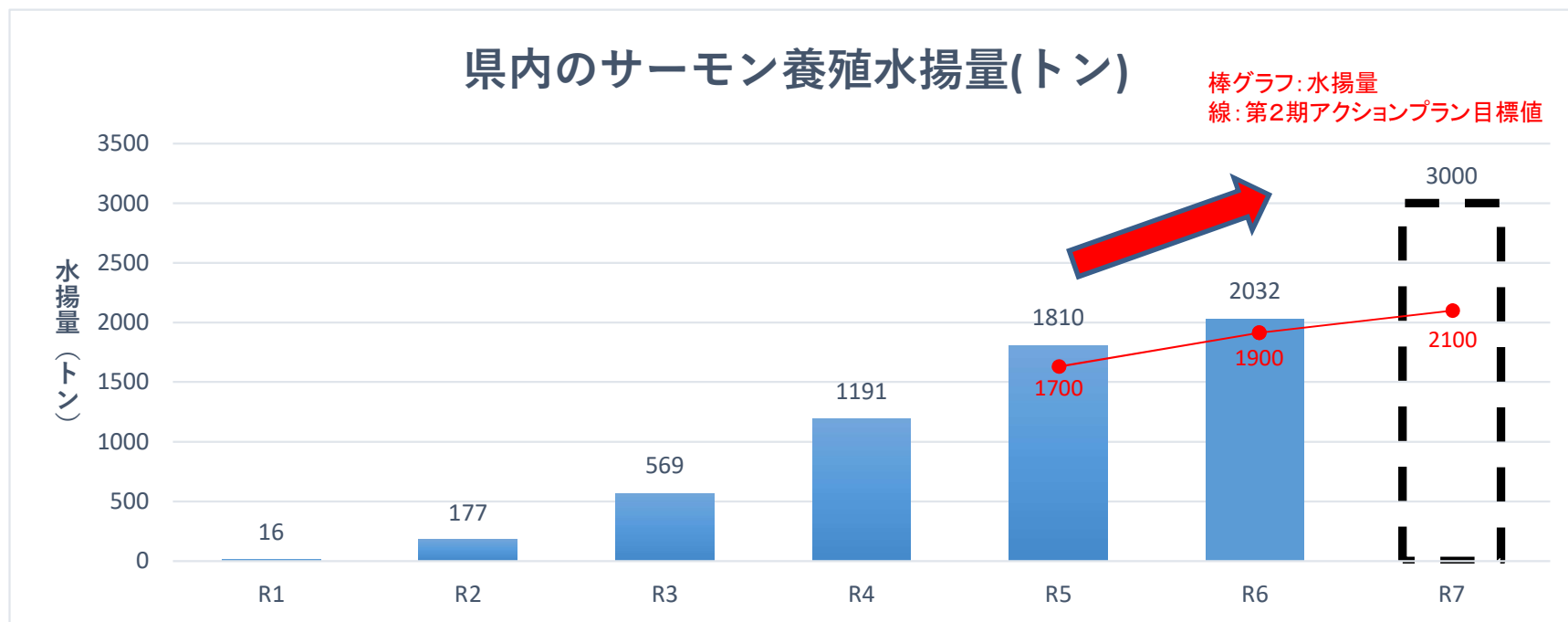
資料: ミツカン、マルハニチロ

【ポイント】

- ・ サケ製品に対する国内消費者の嗜好が変化し、近年は「生鮮」の需要が高い
- ・ 人気の「寿司ネタ」ランキングでは、**サーモンが1位定着**

3 本県における生産状況

◆岩手県のサーモン養殖の水揚げ推移



【ポイント】

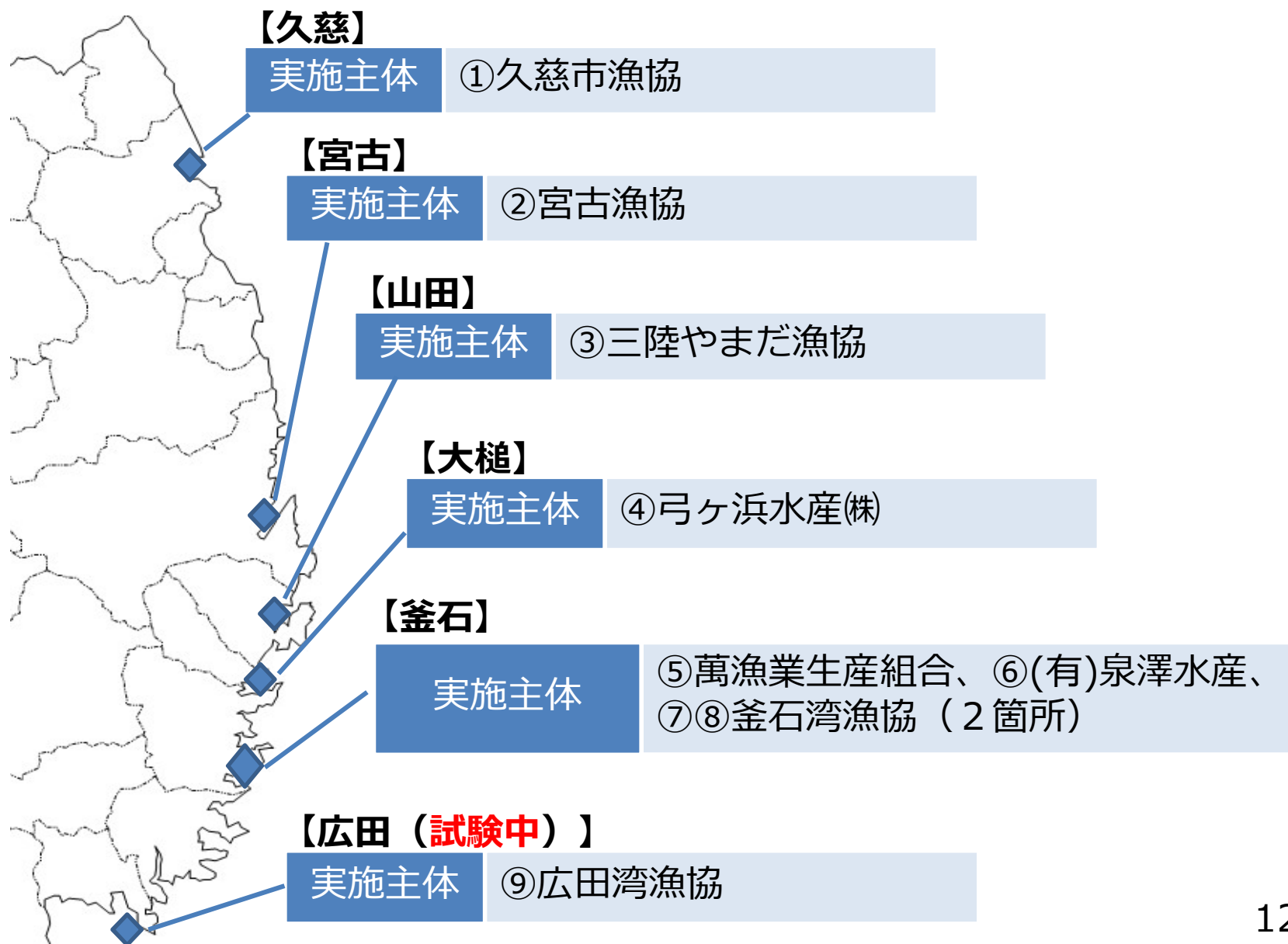
- ・令和元年度から海面養殖が始まり、令和6年度は約2,000 tの水揚量。
- ・令和7年度は3,000トン程度の生産が計画されている。

【AP指標：サケ・マス類の海面養殖の生産量】

現状値(R3)	R5	R6	R7	R8
569t	1,700t	1,900t	2,100t	2,300t

3 本県における生産状況

◆本県海面におけるサーモン養殖のマップ



4 今後の展開

◆取組の方向性

国は「養殖業成長産業化総合戦略」を策定し、国内のサーモン養殖の拡大による輸入サーモン市場の獲得を目指している。

本県においても、国の方向性を踏まえ、拡大基調にある県内のサーモン養殖の取組を推進していく。

【本県の取組の柱】

- ① サケ・マス類の海面養殖用種苗の安定供給体制づくりの推進
- ② 本県オリジナル種苗の開発
- ③ 県産養殖サーモンの知名度向上に向けたPR活動の展開

4 今後の展開

①種苗の安定供給体制づくり

【種卵の供給体制の構築】

県内水面水産技術センターが種卵の量産技術の開発を行い、岩手県内水面養殖漁業協同組合を通じて種卵を販売。ギンザケ種卵は令和5年度から販売開始し、サクラマス種卵は令和6年度から販売を開始。

【さけふ化場の有効活用等による種苗生産体制の構築】

内水面養殖業者やサケふ化場（遊休期間を活用）におけるサーモン養殖用種苗の生産を開始

内水技で種卵生産技術開発



種卵の安定供給



サケふ化場等で種苗生産



4 今後の展開

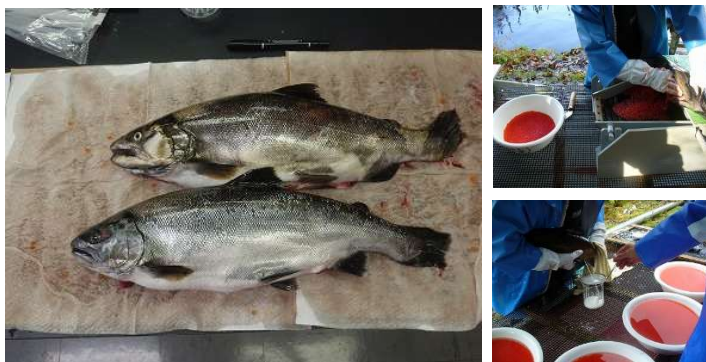
②本県オリジナル種苗の開発

【サクラマス種苗の生産技術開発】

県内水面水産技術センターは、新たに、本県由来のサクラマスを使用した養殖用種苗の作出を研究中

現在、ギンザケ、トラウトサーモンが生産の多くを占めるが、本県由来のサクラマスの生産により、他産地との差別化を図る

オリジナル種苗の開発



本県オリジナルのサクラマスを！



4 今後の展開

③知名度の向上に向けたPR活動の展開

北国育ちの旬を実感。

いわて県産サーモンフェア

提供期間 2024年6月10日(月)から2024年6月30日(日)まで

参加飲食店(テイクアウト含む)

清次郎 丸清次郎 清次郎 丸清次郎 清次郎 清次郎 田沼魚店

BEER BASE BAEREN SAHEN Beer front SUGAR FRESCHISSIMA 磯乃 銀河堂 GINGADO

Instagram #ハッシュタグ 投票キャンペーン

フォローリポート キャンペーン

久慈市 山根町 大畑町 東吾妻町 大船渡市

山根町 山根町 山根町 山根町 山根町 山根町

久慈市 山根町 大畑町 東吾妻町 大船渡市

お問い合わせ先(キャンペーン事務局) TEL 019-625-1342

項目	内容
事業名	いわて三陸海洋環境変化対応型養殖推進事業(R7新規)
ねらい	養殖サーモンの消費拡大・知名度向上
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 量販店でのPRキャンペーン 養殖技術の開発支援



昨年度の例：量販店での販売



昨年度の例：飲食店提供メニュー
(宮古サーモンとアボカドのタルタル卵黄ソース)

4 今後の展開

◆各地域でのお祭りなど

第4回岩手大槌サーモン祭り
同時開催 大槌町郷土芸能祭
2024.6.9日 9:00~14:00
海づくり記念公園

大槌名物! みんな大興奮のメインイベント
サーモンつかみ取り!
海 岩手大槌サーモン 140尾限定 1回2,300円
事前予約枠100尾 当日抽選枠40尾
桃畑学園サーモン(11歳以下限定) 115尾限定 1回2,000円
※予約方法: 当日抽選については裏をご覧ください。

お土産!! 10:30から開始
特製サーモン汁
餅まき 1回目 10:00 2回目 12:40
新着もぎて記念撮影&グッズプレゼント
いろいろなクルマ大集合!
バスカー、白バイ、消防車、自衛隊車両がやってくる!
7団体演奏!
郷土芸能ステージ
特別出演! 釜石初台村虎秀

主催: 大槌町 共催: 岩手大槌サーモン推進委員会
お問い合わせ: (一社) 大槌町観光交流協会 TEL: 0193-42-5121(平日 9:00~17:00)

宮古トラウトサーモンまつり
第1回
令和6年 6/23日 10:00~14:00
宮古市魚市場特設会場 (宮古市南: 国道2-1)

MIYAKO TROUT SALMON FESTIVAL

特産品販売&グルメ屋台
宮古トラウトサーモンを使った絶品グルメが多数登場!
鮮魚、加工品、グルメ

SALMON CHALLENGE 事前申込制
宮古トラウトサーモンチャレンジ!
大迫力の目玉イベント!
トラウトつかみどり 1回 2,000円 ●中学生以下限定 先着50名
お子さまからおとなまで楽しめる!
タモすくい 1回 2,000円 ●年齢制限なし 先着50名
目指せ5kgオーバー!
豪快一本釣り 1回 2,000円 岸壁沿いの特設生けすにて開催! 先着30名

SPECIAL COLLAB
宮古トラウトサーモンまつり 限定価格!
宮古トラウトサーモン漬け丼 通常価格1,400円 → 1,000円
宮古トラウトサーモンアソビ定食 通常価格1,500円 → 1,000円

主催: 宮古トラウトサーモンまつり実行委員会 小問合せ先: 宮古市産業振興部水産課 TEL 0193-68-9099
後援: 宮古市、岩手県沿岸広域振興局、一般社団法人宮古観光文化交流協会、宮古商工会議所、宮古漁業協同組合、閉伊川漁業協同組合、日清丸紅創科株式会社